

まちなみ景観づくりの方針（まちなみ協定）(案)について

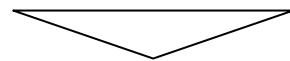
エリアはどういう場所！？……（エリアの立地・特性を考慮する）

【札幌方面 道南方面】

- ・緑豊かな自然あふれる中山峠を越えて、田園地帯を抜け、人里へと入り、徐々に市街地へと進み、再度市街地から畑地へと視点が切り替わる直前の尻別岳を正面に控えた市街地中心部に位置するエリアである。
- ・峠から下りてきて初めての人里集落であり、左側に位置する郷の駅Aゾーンは認識しやすい広がりのある空間であるとともに、立ち寄りやすい位置にある。
- ・郷の駅Aゾーンを訪れる来訪者の目をいかにB・Cゾーンにも向けさせるかがポイントとなる。

【道南方面 札幌方面】

- ・遠くに羊蹄山、眼前に尻別岳を眺めながら豊かな田園景観の畑地を進み、喜茂別の市街地を正面に捉えつつ喜茂別川を越えるカーブから直線に視点が切り替わる喜茂別市街地の入り口に位置するエリアである。
- ・B・Cゾーンは、視野へと入りやすく、来訪者に喜茂別の市街地を印象づける重要な位置にある。
- ・いかに郷の駅Aゾーンとのまとまり感ある印象を与えられるかがポイントとなる。

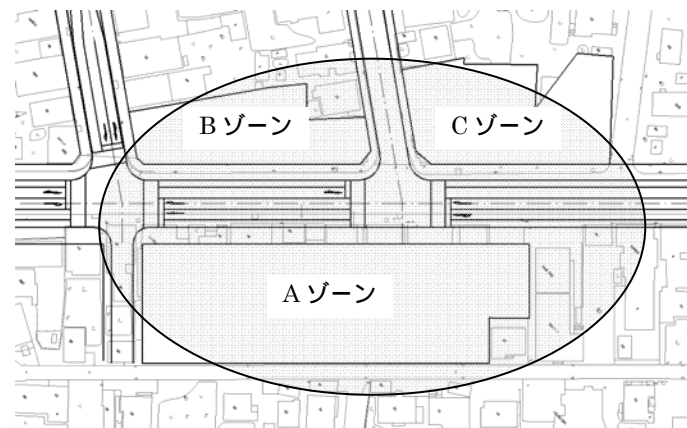


エリア形成はどうあるべき！？……（協定の目的（案））

○『(仮称)郷の商店街』としてのまとまりを生み出す

- ・エリア形成の最終的な目的は、B・Cゾーンと郷の駅Aゾーンとが一体感ある空間を形成し、エリアの界限性を高め、来訪者の消費活動を盛んにすることである。
- ・このため、喜茂別らしい自然資源や立地特性を活かしつつ、まとまりのある空間を創出し、訪れる人に「(仮称)郷の商店街」のイメージを強く印象づける空間づくりを行う。

『(仮称)郷の商店街』

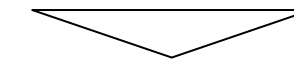


どういったイメージのまちなみにする？……（まちなみづくりの基本目標（案））

○農村の素朴さと豊かな自然景観に囲まれた喜茂別らしい“郷”の雰囲気漂うまちなみづくり

○訪れる人がやさしさを感じられる、あたたかく明るいイメージのまちなみづくり

○

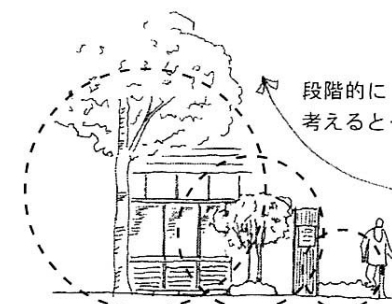


イメージづくりに向けて配慮することは！？……（まちなみデザインの基本方針（案））

前回確認したキーワードなどから以下の配慮事項をまちなみデザインの基本方針とする。

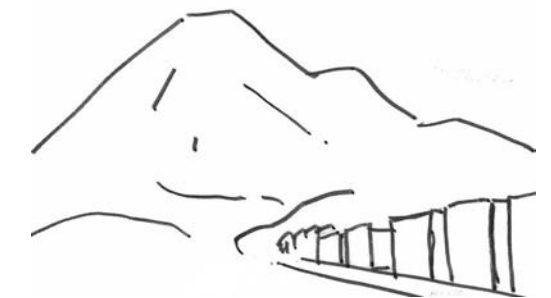
○「ひと」のスケールを中心にした配慮をする。

○周辺の環境との調和に配慮する。



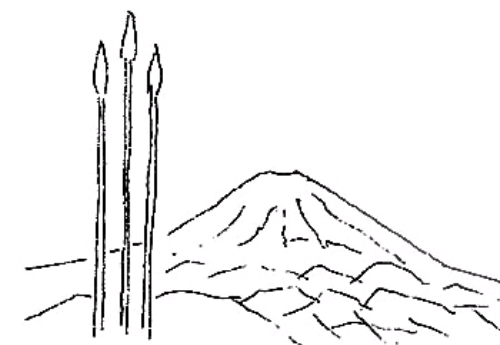
- 【大きいもの】
 - ・建物全体
 - ・中高木
- 【中間のもの】
 - ・建物の軒線
 - ・街灯(門灯)
 - ・看板・サイン
 - ・低木
- 【小さいもの】
 - ・建物の基盤
 - ・足下の花

程良い人の視点の尺度、感覚や行動にあった居心地の良い空間を構成する。



○きもべつの個性を大切にす。

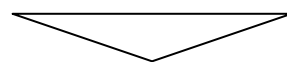
○訪れた人をもてなす安らげる空間を演出する。



具体的にどんなことを行うか！？……（「郷の商店街」のまちなみ協定（案））

・ルールづくりの上での技術的な難易度や、整備する上での資金的負担等を考慮し、まちなみに与える効果と照らし合わせて、出来そうなことを行う。

項目例	ルールの内容	技術的 難易度	資金的 負担	まちなみに 与える効果
		容 難	少 多	高 低
建物の位置	セットバックのルール			
建物の形態	建物の高さ・屋根の形状等のルール			
建物の外装	建物外壁の仕上げや素材等のルール			
建物の色彩	建物外壁や屋根などの色彩のルール			
その他建物の意匠	その他独創的な意匠に関するルール			
建物の構造	建物の構造に関するルール			
看板・広告	附帯する看板や広告物に関するルール			
外灯（門前灯）	建物の外灯（門前灯）に関するルール			
その他附帯施設	建物に附帯する施設に関するルール			
通りの演出	植栽などの建物前の演出に関するルール			
その他				



・「これなら出来そう！」という内容を、建築時に出来ること、行うこと、また、建築した後に出来ること、行うこととして、それぞれ3つのルールとして定める！

（1）建築時に出来ること、行うこと（建築時に守る3つ？のルール）

- ・訪れる人をもてなす空間の創出 ……セットバック
- ・まとまりのあるまちなみの創出 ……色彩の統一
- ・喜ばれらしいまちなみの演出 ……個性を演出するアクセント
- ・

（2）建築した後に出来ること、行うこと（建築後に守る3つ？のルール）

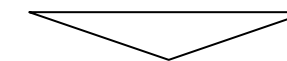
- ・通りの人に語りかけるあいさつのしつらえ ……植栽、イルミネーション
- ・通りの人を快く迎えるおもてなしのしつらえ ……照明、のれん、ベンチ
- ・通りの人を呼び込む集客のしつらえ ……看板、メニュー表、のぼり
- ・

（1）建築時の3つのルール（建築時に出来ること、行うこと）（案）

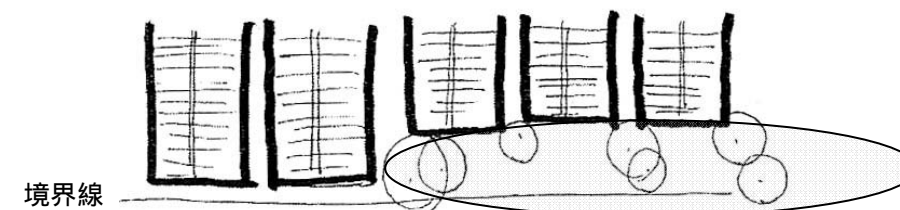
【ルール案1】 「ひき」のスペースを設ける（セットバック）

○敷地ギリギリまで建てず、「ひき」のスペースを設け、訪れる人をもてなす空間の創出を図る。

- ・「ひき」のスペースを設けたゆとりある空間は、通りを歩きやすくし、エリアの界限性を高めることにつながる。



- ・建物の外壁面は、前面道路境界線より m以上後退（セットバック）させる。
- ・セットバックの用地は、通りを歩く来訪者を心地よくもてなす空間演出を行う場として利用する。
- ・



「ひき」のスペースを設けることで、空間的なゆとりが生み出される。

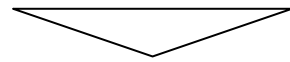


ひいて出来たスペースを、潤いや憩いの空間として活用し、魅力的な店先を演出する。

【ルール案2】 外壁の色彩を統一する

○建物外壁の色彩を統一し、まとまりのあるまちなみの創出を図る。

- ・峠から下りてきて初めての人里集落として、訪れた人をあたたかく迎え、また峠へ向かって行く人を元気よく送り出す、明るくあたたかみのある印象のカラーを選定する。



- ・周辺の環境と調和し落ち着きのあるアースカラーのなかから、喜茂別らしさをイメージさせる明るさと暖かさの伝わる「淡いベージュ」系のカラーとする。
- ・建物外壁の素材は自由とするが、人の視点の尺度にあわせて、最低でも一階部分高さでの色彩の統一を図る。

外壁は淡いベージュ系色 = 「ポテトベージュカラー」とする！！

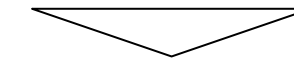
次頁にカラーパレット（案）を示す。



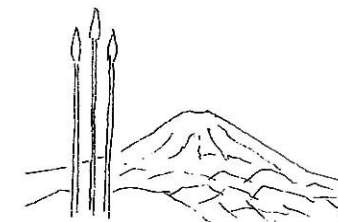
【ルール案3】 アクセントで個性を演出する

○地場の特徴的なデザインをアクセントとして取り入れ、喜茂別らしいまちなみの演出を図る。

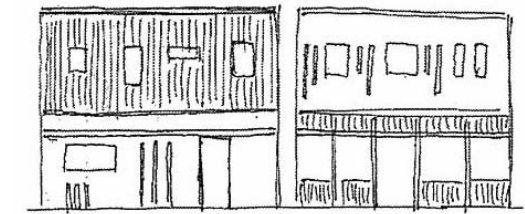
- ・喜茂別らしさをイメージさせるデザインアクセントをさりげなく取り入れ、訪れた人に喜茂別のまちを強くイメージさせることによりまちの商品価値を高める。



- ・天に向かって伸びるアスパラガス 이미지를させる垂直性をデザインしたアクセントを、主張しすぎることなくさりげなく建物のデザインに取り入れる。
- ・アクセントカラーは、初夏のさわやかな新緑をイメージさせるグリーン系のカラー（ハーベストグリーン）とする。
- ・垂直性を表現するアクセントの素材は自由とするが、人の視点の尺度にあわせて、最低でも一階部分高さでのアクセントによる演出を施す。



アスパラガスが伸びるイメージとしての垂直性を建物のデザインに取り入れる。



外壁の一部で垂直性のデザインを施し、リズムカルな表情をつくりだす。



日本塗料工業会 標準色見本（色票番号）	A32-70T	A35-70V	A37-80L	A37-60T
マンセル値	10YR8.5/1.5	10YR8/3	10YR7.5/2	2.5Y8.5/1.5
（外壁ベースカラー： A19-850C）				

外壁色カラーパレット(案)
「きもべつポテトベージュカラー案」

塗装色票番号一覧表

まちなみ協定(案)提案色番号												
日本塗料工業会標準色見本(色票番号)	A19-85C	A19-80F	A19-75D	A22-85C	A22-85D	A22-85F	A22-85H	A22-80D	A22-80H			
マンセル値	10YR8.5/1.5	10YR8/3	10YR7.5/2	2.5Y8.5/1.5	2.5Y8.5/2	2.5Y8.5/3	2.5Y8.5/4	2.5Y8/2	2.5Y8/4			

↑ A 19-90B 10YR9/1	↑ A 19-80A 10YR8/0.5	↑ A 19-75D 10YR7.5/2	↑ A 22-90C 2.5Y9/1.5	↑ A 22-85H 2.5Y8.5/4	↑ A 25-90B 5Y9/1
↑ A 19-90C 10YR9/1.5	↑ A 19-80B 10YR8/1	↑ A 19-75L 10YR7.5/6	↑ A 22-90D 2.5Y9/2	↑ A 22-80B 2.5Y8/1	↑ A 25-90C 5Y9/1.5
↑ A 19-90D 10YR9/2	↑ A 19-80C 10YR8/1.5	↑ A 19-75X □ 10YR7.5/14	↑ A 22-87C 2.5Y8.7/1.5	↑ A 22-80C 2.5Y8/1.5	↑ A 25-90D 5Y9/2
↑ A 19-85A 10YR8.5/0.5	↑ A 19-80F 10YR8/3	↑ A 19-70A 10YR7/0.5	↑ A 22-85B 2.5Y8.5/1	↑ A 22-80D 2.5Y8/2	↑ A 25-85A 5Y8.5/0.5
↑ A 19-85B 10YR8.5/1	↑ A 19-80L □ 10YR8/6	↑ A 19-70B 10YR7/1	↑ A 22-85C 2.5Y8.5/1.5	↑ A 22-80H □ 2.5Y8/4	↑ A 25-85B 5Y8.5/1
↑ A 19-85C 10YR8.5/1.5	↑ A 19-75B 10YR7.5/1	↑ A 19-70C 10YR7/1.5	↑ A 22-85D 2.5Y8.5/2	↑ A 22-80L ⊙□ 2.5Y8/6	↑ A 25-85C 5Y8.5/1.5
↑ A 19-85F (色票番号) 10YR8.5/3 (マンセル値)	↑ A 19-75C (色票番号) 10YR7.5/1.5 (マンセル値)	↑ A 19-70D (色票番号) 10YR7/2 (マンセル値)	↑ A 22-85F (色票番号) 2.5Y8.5/3 (マンセル値)	↑ A 22-80V ⊙□ (色票番号) 2.5Y8/12 (マンセル値)	↑ A 25-85D (色票番号) 5Y8.5/2 (マンセル値)

(2) 建築後の3つのルール(建築した後に出来ること、行うこと)(案)

【ルール案1】 通りの人に語りかけるあいさつのしつらえを施す

○花や緑といった植栽や、イルミネーションにより、通りを歩き交う人に「こんにちは」と語りかけるあいさつのしつらえを施す。

- ・花や緑は、まちなみを明るくするばかりではなく、通りを歩き交う人の気持ちを和ませる。
- ・冬期のイルミネーションも通りを歩き交う人の目を楽しませる。

- ・建物前の「ひき」のスペースでは、フラワーポットや植え込み花壇等を設置し、まちなみの緑化に努める。
- ・冬期は、イルミネーションを設置し、まちなみを幻想的に演出する。

建物前の植栽



イルミネーション

【ルール案2】 通りの人を快くもてなすしつらえを施す

○店先では、照明やのれん、ベンチなどを設置し、通りを歩き交う人を快くもてなすしつらえを施す。

- ・お店の照明やのれん、店先のベンチなどは、通りを歩き交う人に「いらっしゃいませ」「どうぞお入り下さい」というもてなしの表現を感じさせる。

- ・店舗は、照明や行灯の点灯、のれんなどの設置により店舗入り口部の演出に努める。
- ・店前の「ひき」のスペースを有効に活用し、ベンチや椅子などを設置し、通りを歩き交う人へのおもてなしの演出に努める。

入り口の照明



店先の椅子

- 店の外観を魅力あるものにする“三種の神器” -

: 堀繁教授(東京大学アジア生物資源環境研究センター)提唱

- ① 挨拶の装置(こんにちは) → 植物、鉢
- ② 迎客の装置(いらっしゃいませ) → のれん、ベンチ、いす、照明、行灯、パラソル
- ③ 集客の装置(買って行って) → メニュー、商品、商品サンプル、屋号看板(メニューは手書きが最強)

三種の神器が揃った店舗



【ルール3】 通りの人を呼び込むしつらえを施す

○お店の看板やメニュー表は、洒落たデザイン、控えめな表現により、店主のもてなしを表現し、通りを歩き交う人を呼び込むしつらえを施す。

- ・お店の看板やメニュー表、のぼりなどは、通りを歩き交う人に「買って行って!」と語りかける表現を感じさせ、控えめな表現が好ましい。

- ・店舗看板は、各店舗自由な表現とするが、落ち着いたある洒落たデザインの看板設置に努める。
- ・店前の「ひき」のスペースを有効に活用し、手作りのメニュー表等の設置に努める。
- ・店主のもてなしの表現が出ない印刷したのぼりの設置は極力避ける。

洒落た看板



手作りのメニュー表



■ 『(仮称) 郷の商店街』 まちなみ整備イメージ (案)

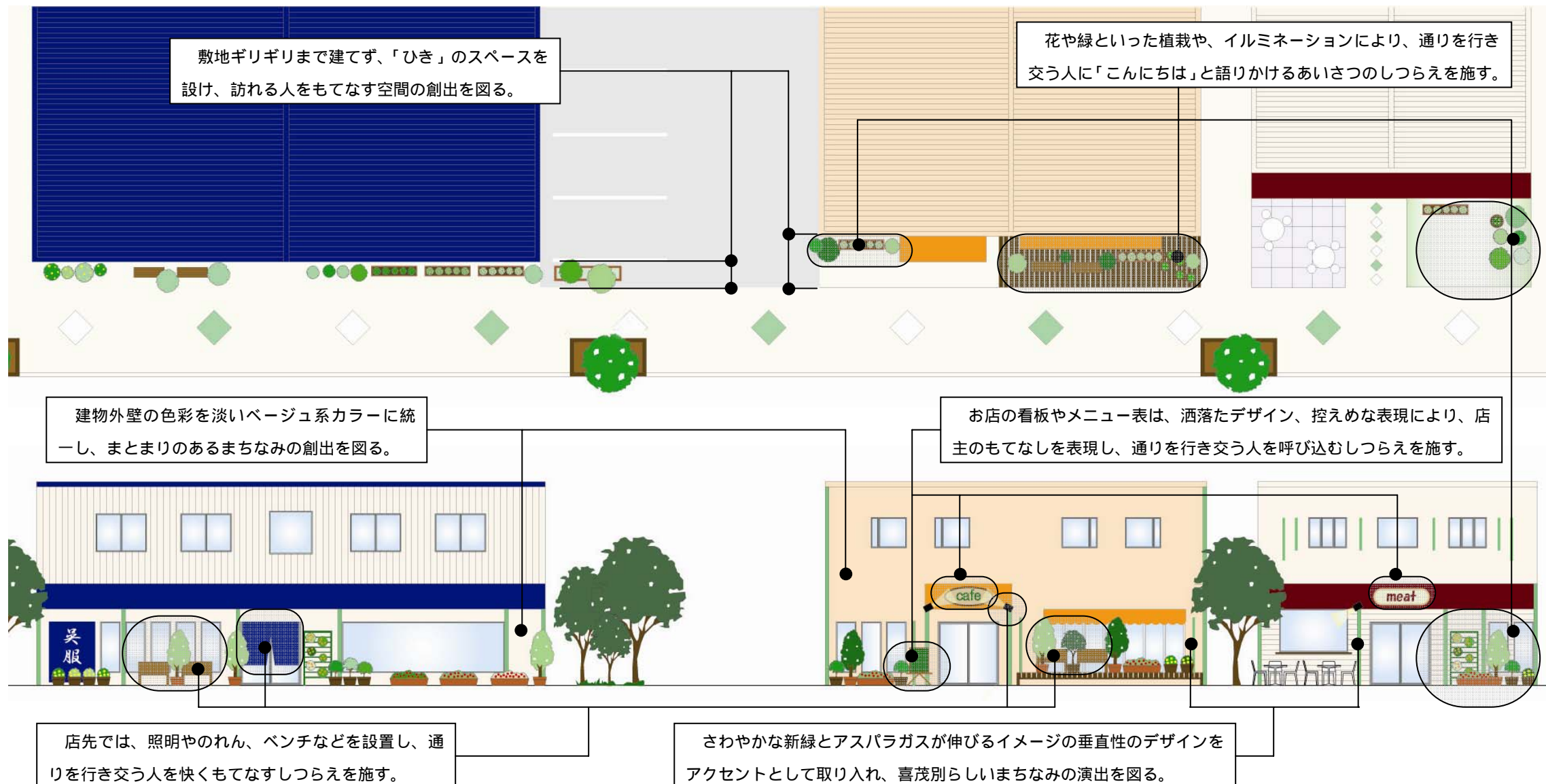
- 農村の素朴さと豊かな自然景観に囲まれた喜茂別らしい“郷”の雰囲気漂うまちなみづくり
- 訪れる人がやさしさを感じられる、あたたかく明るいイメージのまちなみづくり

○建築時に守る3つのルール (案)

- ・訪れる人をもてなす空間の創出
...セットバック
- ・まとまりのあるまちなみの創出
...色彩の統一
- ・喜茂別らしいまちなみの演出
...個性を演出するアクセント

○建築後に守る3つのルール (案)

- ・通りの人に語りかけるあいさつのしつらえ
...植栽、イルミネーション etc
- ・通りの人を快く迎えるおもてなしのしつらえ
...照明、のれん、ベンチ etc
- ・通りの人を呼び込む集客のしつらえ
...看板、メニュー表、のぼり etc



まちなみイメージの発進力の強化に向けて!?

- ・喜茂別の独自のイメージを表現するアクセントは、建物外壁だけではなく、建物の附属施設や敷地内のファニチャーでも同様のアクセントとしてさりげなく表現することで、より効果は高まる。
- ・また、電柱や街路灯などの公共施設においても同様の施しを行うことの協力を求めて行くことで、よりまとまりのあるまちなみ形成につながる。